

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	総合国語		担当教員	大橋崇行		
学年学科	4 年 全学科		前期もしくは後期	必修	1 単位(学修)	
学習・教育目標	(A－2) 2 0 % (C－1) 8 0 %			JABEE 基準 1 (1) : (a) (f)		
授業の目標と期待される効果： 第 3 年次までの学習をふまえ、論理的な思考力にもとづく文章の構成、プレゼンテーション、議論を中心とした日本語運用能力のさらなる向上をめざす。具体的には、以下の項目を目標とする。 ① 漢字や語彙についての知識を増やす。 ② 論理的な文章を読解し、理解できる。 ③ 論理的に思考し、それを文章にすることができる。 ④ 公の場で、適切な日本語を用いてプレゼンテーションをすることができる。 ⑤ 相手の言うことを聞き、自分の主張を展開して議論をおこなうことができる。			成績評価の方法： 中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋小テスト 100 点＋授業中の課題 100 点＋レポート課題・教室外学修 100 点とし、総得点率（％）によって成績評価をおこなう。なお、成績評価に教室外学修の内容が含まれる。			
			達成度評価の基準： 以下に掲げる各能力について 6 割以上の評価を獲得すること。ただし、①、②については授業中に実施する小テストと定期試験、③については教室外学修のレポート課題、④については授業中に配布するプリント類についての学修活動を評価対象とする。 ① 漢字と語彙に関する問題を正確に解くことができる。 ② 論理的な文章の内容を把握し、正確に読み解く問題をとくことができる。 ③ 論理的に考え、それを正確な日本語で文章にすることができる。 ④ 自分の意見を適確な日本語を用いて表現し、また、相手の意見を聞いてそれを検証することができる。			
授業の進め方とアドバイス： 授業ではプレゼンテーションをする機会や発言を求める機会があるので、積極的に参加すること。また、レポート課題、授業中に配布する課題については、必ず提出すること。						
教科書および参考書： 大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法（松本茂他，玉川大学出版，2007,3）を教科書として用いる。また適宜プリントを配布する。						
授業の概要と予定：前期				教室外学修		
第 1 回：授業ガイダンス				小テスト予習		
第 2 回：プレゼンテーションの方法				小テスト予習、プレゼンテーション準備		
第 3 回：評論（1）				小テスト予習、プレゼンテーション準備		
第 4 回：評論（2）				小テスト予習、プレゼンテーション準備		
第 5 回：プレゼンテーション（1）				小テスト予習、プレゼンテーション準備		
第 6 回：プレゼンテーション（2）				小テスト予習、プレゼンテーション準備		
第 7 回：プレゼンテーション（3）				中間試験の学習		
第 8 回：中間試験						
第 9 回：レポートの書き方				小テスト予習		
第 10 回：文章の基本				小テスト予習、文章の書き方についての演習		
第 11 回：鑑賞（1）＊				小テスト予習、文章の書き方についての演習		
第 12 回：鑑賞（2）＊				小テスト予習、レポート執筆		
第 13 回：評論（3）				小テスト予習、レポート執筆		
第 14 回：評論（4）				期末試験の学習		
第 15 回：レポート課題の総括						
期末試験				—		
第 16 回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）				—		